常任委員会レポート

予算決算委員会

民生文教分科会

議第74号　令和7年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定について～予防費～

問　帯状疱疹ワクチンについて、定期接種の対象とならない50歳以上の市民に対して接種費用の一部助成を行ったということであるが、助成事業の効果をどう捉えているか。

答　本市が任意接種として導入するワクチンについては、感染症の発症予防効果、重症化予防効果、市民の生活の質を安定させるために必要であるかといった費用対効果などを研究したうえで導入しており、令和6年度から、市の独自の事業として、50歳以上の方を対象に帯状疱疹ワクチン接種費用を助成した。その後、法改正により、令和7年度から、65歳、また、そこから5歳おきの年齢の方を対象とした帯状疱疹ワクチンの定期接種が始まった。50歳から64歳までの働き盛りの年代の方が市の助成事業を活用しワクチンを接種することで、罹患後の後遺症による生活への支障を予防する効果があるなど、助成事業は一定の効果があると考えている。

建設経済分科会

議第74号　令和7年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定について～商工総務費～

問　応援商品券のプレミアム率が令和6年度・令和7年度ともに20％となっているが、他市では30％や50％のところもある。プレミアム率を決める視点はどのように決めているのか。また、掛川市では給付型の商品券の取組をしているが、袋井市でも検討する中で話題になったか。

答　プレミアム率については、令和6年度・令和7年度は20％で、今年度は30％としている。国の重点支援交付金を活用した事業であり、国が重点支援交付金を交付するにあたって、1人当たりの金額は3000円程度という目安が示されているため、これを踏まえて設定をしている。また、今年度、掛川市では給付型で1人につき5000円を給付する形で実施していることは承知しているが、給付型、購入型を検討するにあたり、袋井市では、例年購入型で行ってきており、市民も慣れてきていることから、従来のやり方を継続する形で考えている。

議第74号　令和7年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定について～治水対策費～

問　新たな浸水ハザードマップとPR動画作成後、市民からの意見はどのようなものがあったか。

答　浸水ハザードマップの説明会を14箇所で実施し、約600名の方に参加していただいた。参加者数は前回の説明会よりも増加し、多くの方に興味を持っていただいていると実感している。否定的な意見もなく、前向きな姿勢で受けていただき、避難行動などに関する質問が多かった。引き続きチラシの配布や、防災訓練の中での周知など、多くの市民に理解していただけるよう取り組んでいく。



Youtubeで公開されている
職員による解説動画

視聴はこちらから

民生文教委員会

議第85号　袋井市印鑑条例の一部改正について

問　今回の改正によって、特定在留者カードと特別永住者証明書のカードを用いて証明書コンビニ交付サービスを利用できるようになるということか。現在の証明書コンビニ交付サービスとの違いはあるか。

答　特定在留カードおよび特別永住者証明書のカードについては、従来のマイナンバーカードと同様の機能を有しているため、証明書コンビニ交付サービスについても、マイナンバーカードを用いる場合と同様に証明書を取得することができる。



証明書コンビニ交付サービスのイメージ